

「学校組織の理解と参画」

平成 22 年 5 月 18 日(火) 9:00～10:20
 群馬県総合教育センター 704号室
 群馬県立大泉高等学校
 教諭 川島 一秀(教務主任)
 連絡先 kawashima@oizumi-hs.gsn.ed.jp

- 1 自己紹介
- 2 学校組織を考える前に
 - ・教師としての原点
 - ・研修の姿勢
- 3 学校と教職員

	自分分かっている	自分分かっていない
他人に分かっている	I 開放の窓 「公開された自己」 (open self)	II 盲点の窓 「自分は気がついていないものの、他人からは見られている自己」 (blind self)
他人に分かっていない	III 秘密の窓 「隠された自己」 (hidden self)	IV 未知の窓 「誰からもまだ知られていない自己」 (unknown self)

ジョハリの窓

- 4 校務分掌組織

	小・中学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
校長	○	○	○	○
副校長	△	△	△	△
教頭				
主幹教諭				
指導教諭	○	○	○	○
教諭	△		△	○
養護教諭				
栄養教諭	◇	◇	◇	◇
助教諭	◇	◇	◇	◇
養護助教諭	◇	◇	◇	◇
講師	◇	◇	◇	◇
実習助手	—			
寄宿舎指導員	—	—	—	○(空欄を設ける場合)
事務職員	△	○	○	△
技術職員	—			
学校用務員				
学校医	○	○	○	○
学校歯科医	○	○	○	○
学校薬剤師	○	○	○	○

○：必置職員
 △：特別の事情がある場合は置かないことができる職員
 ◇：教諭、養護教諭に代えて置かれる職員
 無印：任意設置の職員

新学校管理読本 p14

- 5 リーダーシップと組織への参画

今後の教員の勤務の在り方

今後の教員の勤務の在り方としては、以下のようなものが考えられるのではないかと。

- 6 文部科学省の資料から

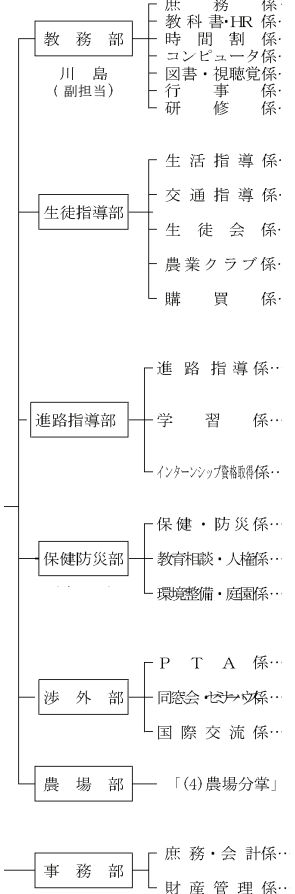
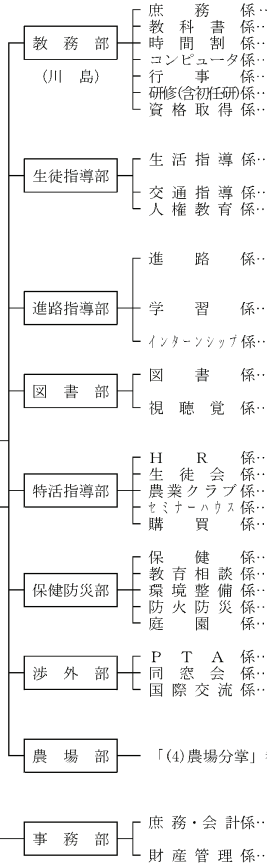
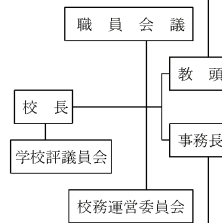
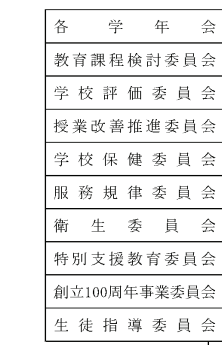
- (1) 組織の一員として働く
 - ・教員は、すべてを抱え込んで個人の判断で対応するのではなく、管理職の下、教員以外の専門人材や地域人材と連携しながら、学校や児童生徒が抱える課題に組織として対応する。
- (2) 授業を中心に働く
 - ・教員は、学校という組織の中で、その専門性の最たる部分である授業を中心に勤務する。授業以外の業務については、多様な専門人材、地域人材を積極的に活用し、適切な連携・役割分担を図っていく。
- (3) 勤務負担が軽減され、心身ともに健康に働く
 - ・教員の勤務状況が適切に把握され、その結果、過重な労働となっている場合には、その過重な負担が軽減されるとともに、健康管理が適切に行われるようにする。
 - ・教員が主に担うべき授業の質の向上のため、その準備に十分に時間が取れるようにする。

- 7 貢献に焦点を合わせ良好な職場環境を

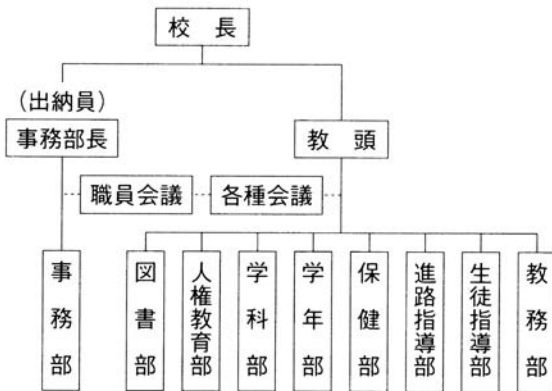
本校の校務分掌

2009年度

2010年度



高等学校における校務分掌の例



平成 21 年 1 月 13 日付け初等中等教育企画課長通知

(1) 各学校の管理職は、学校における会議や行事の見直し等による校務の効率化を図るとともに、一部の教育職員に過重な負担がかからないよう適正な校務分掌を整えること。
 また、各教育委員会においても、学校における教育職員の事務について適宜見直しを図り、その効率化と軽減に努めること。その際、別添資料を参照の上、各学校への調査・照会や調査研究（モデル校）事業に関する事務負担の軽減について具体的な計画を立て、着実に実施すること。

(2) 職場内の人間関係の希薄化が指摘されており、日頃から、教育職員が気軽に周囲に相談したり、情報交換したりすることができる職場環境を作るよう、特段の配慮を行うこと。特に各学校の管理職は、心の健康の重要性を十分認識し、自ら親身になって教育職員の相談を受けるほか、配慮が必要な教育職員を把握した場合には、例えば、中心となって相談を受ける職員を指名するなど具体的な対応を行うこと。なお、人事異動等により職場環境に変化があった教育職員には十分配慮すること。

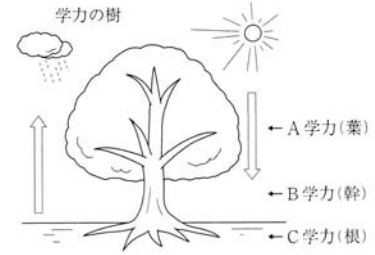
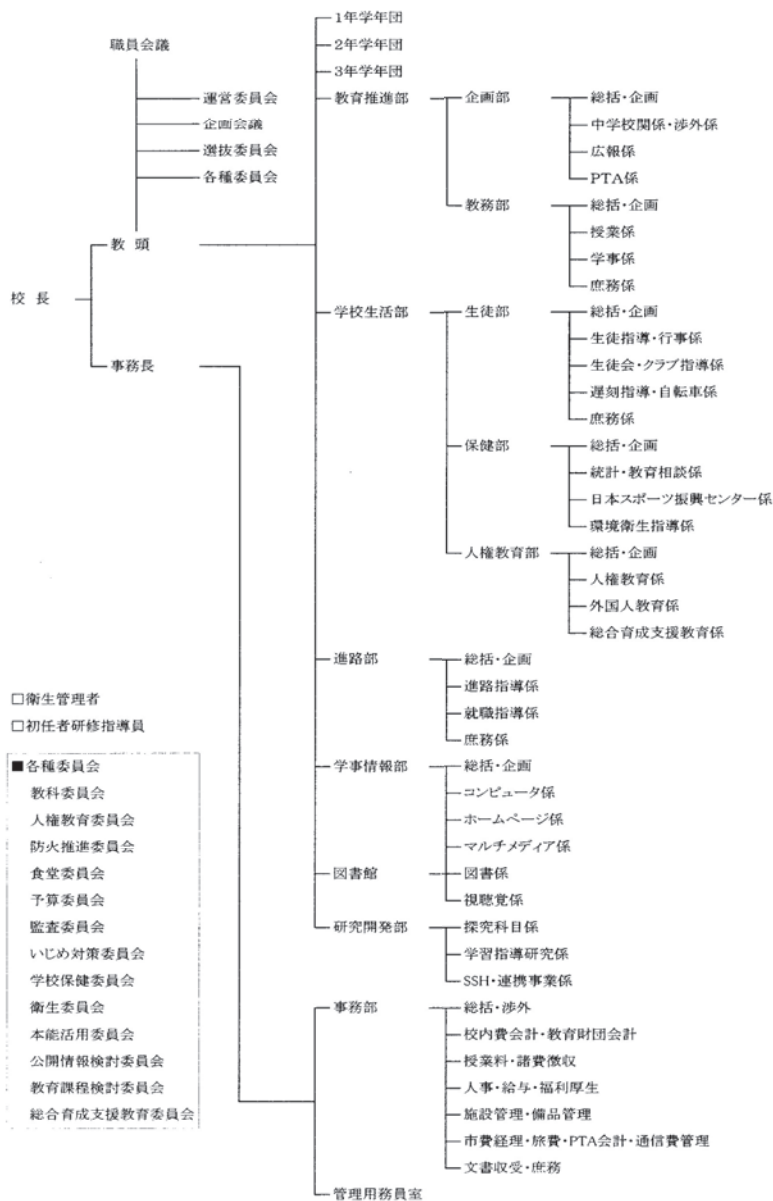
(3) 各学校の管理職は、心の不健康状態に陥った教育職員の早期発見・早期治療に努めること。例えば、各学校の管理職は精神性疾患が疑われる教育職員に気付いた場合、必要に応じて教育委員会と連携しながら、早めに医療機関への受診を促すなどの適切な対応をとること。

(4) 病気休職者が学校に復帰する場合には、各学校の管理職は、当該教育職員への理解と協力が得られるような環境を整備するとともに、復帰後しばらくの間は経過を観察すること。また、各教育委員会においても、病気休職者が円滑に職場復帰できるよう、復職時の支援体制の整備に努めること。

(5) 教育委員会においても積極的な学校訪問を通じて、学校の様子や各教育職員の状況を的確に把握するよう努めるとともに、一般の教育職員に対して、心の健康に関する意識啓発や、電話やメールなども活用しつつ、気軽に相談できる相談窓口を設置し、その周知を図るなどの取組を推進すること。併せて、各学校の管理職に対してメンタルヘルスに対処するための適切な研修を実施するよう努めること。

出典： http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinji/1288490.htm

A 高等学校の校務運営組織



学力の樹 (学力を育てる p45)

欧米の「効果のある学校」の特徴

- ① 校長のリーダーシップ
- ② ビジョンと目標の共有
- ③ 学習を促進する学校環境
- ④ 教授と学習への専心
- ⑤ 目的意識に富んだ教授方法
- ⑥ 子どもたちへの高い期待
- ⑦ 積極的な評価
- ⑧ 学習の進歩のモニタリング
- ⑨ 子どもたちの権利と責任の尊重
- ⑩ 家庭との良好な関係
- ⑪ 学びあう組織

Sammons, P. at al. Key Characteristics of Effective Schools, in White, J. & Barber, M. (eds.), Perspective on School Effectiveness and School Improvement, University of London, 1996, pp. 77-124.

日本版「効果のある学校」に共通する要因(しんどい子に学力をつける七つの法則)(学力を育てる p166)

- (1) 子どもを荒らさせない
- (2) 子どもをエンパワーする集団づくり
- (3) チーム力を大切にしている学校運営
- (4) 実践志向の積極的な学校文化
- (5) 地域と連携する学校づくり
- (6) 基礎学力定着のためのシステム
- (7) リーダーとリーダーシップの存在

表13 病気休職者数等の推移(平成11年度～平成20年度)

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
在職者数 (A)	939,369	930,220	927,035	925,938	925,007	921,600	919,154	917,011	916,441	915,945
病気休職者数 (B)	4,470	4,922	5,200	5,303	6,017	6,308	7,017	7,655	8,069	8,578
うち精神疾患による休職者数 (C)	1,924	2,262	2,503	2,687	3,194	3,559	4,178	4,675	4,995	5,400
在職者比(%)										
(B) / (A)	0.48	0.53	0.56	0.57	0.65	0.68	0.76	0.83	0.88	0.94
(C) / (A)	0.20	0.24	0.27	0.29	0.35	0.39	0.45	0.51	0.55	0.59
(C) / (B)	43.0	46.0	48.1	50.7	53.1	56.4	59.5	61.1	61.9	63.0

(注)「在職者数」は、当該年度の「学校基本調査報告書」における公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師、実習助手及び寄宿舎指導員(本務者)の合計。

出典：http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afildfile/2009/12/25/1288132_13.pdf

参考資料

本講義を行うにあたり、参考とした主な書籍は(4)と(5)の2冊及び掲載していませんが、「第5次全訂新学校管理読本」(文部科学省初等中等教育局)、「教育経営論」(放送大学大学院科目テキスト)の2冊です。また、講義で触れる日本版「効果のある学校」については(1)と(2)、最新の教育行財政関係は(3)を資料として挙げました。

校務分掌関係は、勤務校と他県の某高等学校を例に挙げました。Webページを参考にして下さい。

なお、文部科学省関係の資料は、以下のWebページを参考して下さい。

○教員研修参考ページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenshu/index.htm

○新しい学習指導要領

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/index.htm

○メンタルヘルス関係

・平成20年度 教育職員に係る懲戒処分等の状況について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinji/1288132.htm

○学校の組織運営の在り方を踏まえた教職調整額の見直し議論

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/052/shiryo/08060225.htm

○学校・教職員の在り方及び教職調整額の見直し等に関する作業部会議事要旨・議事録・配付資料

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/042/giji_list/index.htm

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/042/giji_list/index.htm

実践

教科「農業」を担当し、最近では農業情報処理を中心に授業を担当しています。昨年度から、学習支援サイトを構築するとともに、メーリングリストを併用した授業を展開しました。以下のサイトから閲覧可能です。

<http://joho.nogyokyoiku.net/>

また、本校で指導教員が実施している初任者研修の内容を以下のブログサイトで公開中です。

<http://shoninken.kyoshijuku.net/blog/>

※本日のプレゼン資料のダウンロードサイトは以下のとおりです。

<http://kyoshijuku.net/>

(1)



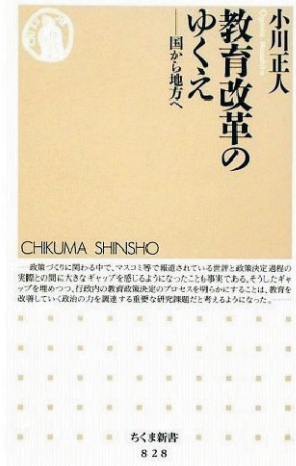
学力を育てる (岩波新書)
978-4004309789

(2)



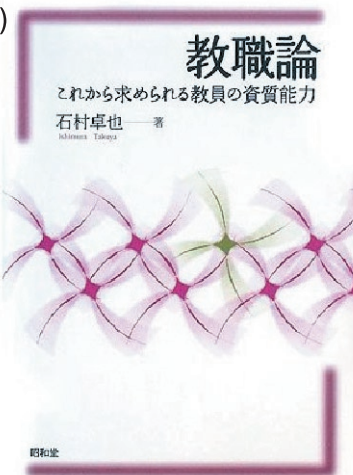
公立学校の底力 (ちくま新書)
978-4480064479

(3)



教育改革のゆくえ (ちくま新書)
978-4480065360

(4)



教職論 (昭和堂)
978-4812208038

(5)



現代の教育改革と教育行政 (放送大学教育振興会) 978-4-595-31180-2

編集後記

本日の講義はいかがだったでしょうか？なるべく分かりやすく心をかけたつもりですが、いかんせん話が拡散してしまうのが得意なので。初任者は元気いっぱい一生懸命取り組むのが持ち味です。自らの行動を振り返りながら、聞く耳をもって、頑張ってください。疑問点は、下記のメールにてお問い合わせ下さい。

kawashima@oizumi-hs.gsn.ed.jp